

いけんひろば
～児童福祉法について～
報告資料

2023年度『こども若者★いけんぷらす』事業

目次

1. アンケート（いけんひろば）の概要

p.3

- テーマ
- アンケートの方法
- アンケートの期間
- 調査対象者
- 集まった回答の数
- 結果の使い方



2. アンケート（いけんひろば）の結果

p.4

- こどもが意見を言いやすくなるようにするために、こどもの意見を聴く大人は、どんなことに気をつけるといいと思いますか。
- どのような仕組みがあれば、あなたが、自分の家以外の場所に保護をされたことや保護をされた後の生活についての希望や悩みなどについて、意見を言いやすくなると思いますか。
- もしあなたが親からご飯を食べさせてもらうなどのお世話をしてもらえなかったり、怒鳴られたり叩かれたりしていたり、あるいは、家族の病気や障害などで自分が家事などをしなければならなかったとしたら、どんなサポートが利用できると助かると思いますか。
- もしあなたが親からご飯を食べさせてもらうなどのお世話をしてもらえなかったり、親に叩かれたり怒鳴られたりするなど、おうちのこと何か困りごとがあったとき、どのような方法なら、「こども家庭センター」に相談しやすいですか。
- 新しい児童福祉法では、あなたやあなたの家族がおうちのこと困っているときに、「こども家庭センター」の人が、あなたやあなたの家族と相談しながら、どんなサポートを、いつ何回くらい利用するかといった内容を書いた「サポートプラン」をつくることになりました。サポートプランをつくる人には、どのようなことに気を付けてもらいたいですか。

アンケート（いけんひろば）の概要

<p>テーマ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童福祉法について <ul style="list-style-type: none"> ➤ 新しくなった法律「児童福祉法」で、こどもや家族に必要なサポートを届けられるようにするために、皆さんの意見をきかせてもらいました。 (参考資料：新しくなった児童福祉法 (cfa.go.jp))
<p>アンケートの方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> WEBアンケート
<p>アンケートの期間</p>	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年7月24日（月）～8月6日（日）
<p>調査対象者</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「ぷらすメンバー」に登録している方のうち、令和5年4月の時点で小学4年生～18歳の方
<p>集まった回答の数</p>	<ul style="list-style-type: none"> 96件
<p>結果の使い方</p>	<ul style="list-style-type: none"> みなさんの意見（アンケートを集めた結果）は、国の会議の資料とし、その資料をもとに、新しくなった児童福祉法に基づく取組がより良いものになるよう話し合っていきます。 なお、国の会議の資料は公開されますが、だれが答えた意見かはわからないようにします。

アンケートの結果 (Q1) 1/2

こどもが意見を言いやすくなるようにするために、
こどもの意見を聴く大人は、どんなことに気をつけると思いますか？

- **「こどもの話を止めたり、さえぎったりせずに、最後まで聞く」**が一番に、次に**「こどもの意見を否定しない」、「こどもを急かさない」**が多く選ばれました。

選択肢（複数回答）	件数（件）
こどもの話を止めたり、さえぎったりせずに、最後まで聴く	84
こどもの意見を否定しない	78
こどもを急かさない	71
こどもが知りたいことをわかりやすくこどもに説明する	69
こどもの意見を聴いた後で、どのような理由でどのような決定をしたのか、ちゃんと説明する	67
優しくする	57
ゆっくり話す	39
その他	27
無回答	0



アンケートの結果 (Q1) 2/2 ～「その他」の意見～

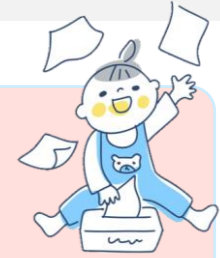
こどもが意見を言いやすくなるようにするために、
こどもの意見を聴く大人は、どんなことに気をつけると思いますか？

★こどもの意思を尊重する・引き出す

- ついちいさい子供には自分の思い込みなどによって答えを誘導しがちだが、それをすることなくその子自身の言葉を引き出してほしい。
- 年代によっては選択肢を提示した上で話し合いをする。
- 誰かの話を持ち出さなくていい。他に人はこのようにしてたなどはいらない。
- 言葉に詰まったときも、あまり深くは詮索しようとしなない。
- 大人と議論しながら意見を聞く。

★こどもに寄り添う

- 子どもの意見に一度共感する。
- こどものことを優先する。
- 自分の価値観や考え方にとらわれず、こどもの目線になって考える。
- 子どもそれぞれのできることに、背景等を考える。



★こどもに向き合う

- 「大人の事情」「大人の世界」等の話で話を濁さずきちんと誠実に答える。
- なんでそうなったのかきちんと説明する、大人の事情と流さない。
- こどもの意見をきちんと取り入れてくれる。
- 過度に「こども」ということを意識せず、大人側も子供の意見に対して率直に意見する。
- 子供がいないところで勝手にその子のことを決めない。
- 話を聞いて終わりにするのではなく、解決に向けて全力で協力をすると事前に約束をし、破らない。

★こどもが話しやすい環境を整える

- 「秘密は絶対に守る」ということをきちんと伝え、徹底する。
- 大人は、こどもに正直な意見を話してもらえるように、こどもとの信頼関係を築く。
- 子どもが信頼している大人（保育士など）が話を聴く。
- ひとりひとりにあった方法でコミュニケーションを取る(筆談なども含む)。
- 笑顔
- こどもが話しやすい場所で話を聞く



アンケートの結果 (Q2)

どのような仕組みがあれば、あなたが、自分の家以外の場所に保護をされたことや保護をされた後の生活についての希望や悩みなどについて、意見を言いやすくなると思いますか？

- 「電話やはがき、メール、SNSなどにより、あなたの意見を伝えることができる相談先があり、あなたが希望すれば、その相談先が、あなたを保護した大人やあなたが保護されたあとと一緒に生活している大人などに、あなたの意見の実現に向けて対応するように伝える」が一番多く選ばれました。

選択肢（複数回答）	件数(件)
電話やはがき、メール、SNSなどにより、あなたの意見を伝えることができる相談先があり、あなたが希望すれば、その相談先が、あなたを保護した大人やあなたが保護されたあとと一緒に生活している大人などに、あなたの意見の実現に向けて対応するように伝える。	65
あなたを保護した大人やあなたが保護された後に一緒に生活する大人とは別の大人が定期的に、または、あなたが希望するときに、あなたが生活している場所まで話を聴きに来る。あなたが希望するときには、あなたの意見を相手に伝えるサポートをしたり、あなたの代わりに伝えたりする。	58
あなたを保護した大人やあなたが保護された後に一緒に生活する大人が、定期的に、または、あなたが希望するときに、あなたの意見を聴く時間をとる。	47
その他	11
無回答	4

「その他」の意見

★意見を言う方法

- どこの誰に伝えれば良いかわからない、伝える方法や手段を知らない、どの年齢の子供でも助けを求められる方法を知らせて欲しい。学校でこどもSOSの小さい用紙をもらうけど、連絡は電話だけで時間も決まっていたりで使いにくいと思う。

★意見を言う相手

- 多くの人は意見を聞かれても上手に返事をできない時間があるので、専門の人が上手に悩みや希望を聞き出す必要がある。
- 信頼できる人がいないといけない。
- 話を聞いてくれる場所に学校の担任の先生も来てくれる。
- 自分がその時に努力していることについて詳しい人。そして、その人とそれについての技術向上を目指したい。その様になにかを成し遂げると信頼も生まれます。また、それまで初対面だと何かの作業などをしながらの方が仲が深まる。
- 大人にも伝えにくいことがあるので、歳が近い19歳くらいの人に聞いてもらえる施設を校区内にひとつくらい作る。
- 同じ境遇にある子どもたちと交流会をする。

★意見を言う時の関わり方

- 警戒されて始めから話してもらおうというのは難しい場合もあるので、まずは安全であるとわかってもらう為に「根気強く」向き合う。
- ずっとその人と居られる

アンケートの結果 (Q3)

親からご飯を食べさせてもらうなどのお世話をしてもらえなかったり、怒鳴られたり叩かれたりしていたり、あるいは、家族の病気や障害などで自分が家事などをしなければならなかったとしたら、どんなサポートが利用できると助かると思いますか。

- 「**あなたの親が家にいないときや親から少し離れて過ごしたいときにおうちとは別の安全な場所に泊まることができる**」が一番多く選ばれました。

選択肢 (複数回答)	件数(件)
あなたの親が家にいないときや親から少し離れて過ごしたいときに、おうちとは別の安全な場所に泊まることができる	71
放課後(ほうかご)などにあなたのおうち以外の安心して過ごせる場所に通い、遊びや勉強、食事などをすることができる	66
あなたのおうちに食べ物や生活に必要なものを無料で届ける。	64
大人の方がおうちに訪問して食事をつくったり、掃除をしたり、あなたや兄弟のお世話をしたりする。	62
あなたの家族の病気や障害、介護のことなどについて相談にのり、利用できるサービスを教える	58
あなたのお父さんやお母さんに、あなたを怒鳴ったり叩いたりせずに子育てをする方法を教える	37
その他	10
無回答	3

「その他」の意見

★相談できる環境

- 同じ境遇を経験した大人と交流する。
- 特別なサービスを利用しなくても、学校や地域などで気軽に相談できる環境をつくる。
- 同じような境遇の子どもたち同士で集まり、それぞれお互いの辛さを認め合い、悩んでいる人は自分ひとりではないことをよくしることが大切だと思う。

★お金や物の支援

- 親戚の家などに避難するための費用をだす。
- 金銭面での支援 (学費・給食費を免除するなど) をする。
- 話をきちんと聞いてくれて、やってほしいことやほしいものを持ってきてくれる。
- サービスを教えたあと、利用できるサービスの手続きまでやる。

★その他

- 安全な場所はイメージが暗いから、そこを何とかして欲しい
- 2番 (あなたのお父さんやお母さんに、あなたを怒鳴ったり叩いたりせずに子育てをする方法を教える) の実行後、大幅な改善が見られない場合は、こども本人に可能な限り隠さず話し、説得して保護する。

アンケートの結果 (Q4)

もしあなたが親からご飯を食べさせてもらうなどのお世話をしてもらえなかったり、親に叩かれたり怒鳴られたりするなど、おうちのこと何か困りごとがあったとき、どのような方法なら、「こども家庭センター」に相談しやすいですか。

- 「LINEなどのSNSで相談する」が一番に、次に「こども家庭センターの人が学校に来て相談にのる」、「学校の先生やスクールソーシャルワーカーの人に相談したら、その内容を学校の先生たちがこども家庭センターの人に伝える」が多く選ばれました。

選択肢 (単数回答)	件数(件)
LINEなどのSNSで相談する	39
こども家庭センターの人が学校に来て相談にのる	17
学校の先生やスクールソーシャルワーカーの人に相談したら、その内容を学校の先生たちがこども家庭センターの人に伝える	12
パソコンやスマホを使って、メールを送る	10
電話をかける	7
手紙やはがきを書いて送る	3
その他	5
無回答	3

「その他」の意見

★方法について

- 学校のPCなどを使用して、親に履歴が分からないようにしてメールなどを送る。
- その親に相談しているということがばれてしまったらまた怒られてしまいそうだから、親には相談したことを言われなくてかそのことが親にはばれないといった秘密厳守のところ・方法。
- 公衆電話、スマホ、家の電話とか直通の無料電話。



★相談相手について

- 大人の方が大変かもしれないが、誰でも身近な人に相談していいことにする。そして、しっかり対策した方がいいと思う事例の場合はその大人が(相談を受けた子どもに許可を得た上で)子ども家庭センターに相談する。
- 僕のお母さんは、子どもアドボケイトを取得していますが、結局は子どもの意見を聞くのは、児童相談所に保護された子どもだけに適応していると、児童相談所の方に母と一緒に聞いた事があります。僕が学校で虐めにあった時に、その事を母に伝えると母は僕の為に動いてくれましたが教育委員会も知らん顔。結局は、大人できちんと考えて行動してくれる人は、母しかいない。

アンケートの結果 (Q5)

新しい児童福祉法では、あなたやあなたの家族がおうちのこと困っているときに、「こども家庭センター」の人が、あなたやあなたの家族と相談しながら、どんなサポートを、いつ何回くらい利用するかといった内容を書いた「サポートプラン」をつくることになりました。サポートプランをつくる人には、どのようなことに気を付けてもらいたいですか。

- 「サポートプランをつくる前に、どんなサポートがあるのか、わかりやすく説明する」と、「あなたがサポートの内容や利用する回数を変えてほしいときに、あなたの意見を聴いて、変えるべきかどうかをしっかりと考え、結果を説明する」が両方とも73件で一番多く選ばれました。

選択肢 (複数回答)	件数(件)
サポートプランをつくる前に、どんなサポートがあるのか、わかりやすく説明する	73
あなたがサポートの内容や利用する回数を変えてほしいときに、あなたの意見を聴いて、変えるべきかどうかをしっかりと考え、結果を説明する	73
あなたの意見をしっかりと聴いて、サポート内容や利用する回数を決める	71
決まったサポートプランの内容について、あなたにわかりやすく説明する	61
その他	11
無回答	5

「その他」の意見

★迅速に対応する

- 必要な時にすぐにサポートを求められる環境を整備する。
- 選択肢に書いてあることを、あまり時間をかけずにやってほしい。
- サポートの内容を変えたいと言ったらすぐに(2日以内)変えてもらえるようにする。

★こどもの意見を尊重する

- 自分のやりたいことができるようなサポートプランにしてほしい。
- 子供の言っていることを蔑ろにせず、大人の意見と同じように、もしくはそれ以上に大切に扱う。
- 大人だけでなく、こどもも交えて話す。

★こどもが接しやすくする

- 気軽に話せる、歳の近い大人がいい。市役所とか役場の人は頭がかたい人が多くて子供の気持ちを分かってくれない。同じことを経験した大人でもいい。
- サポートプランをつくる際に、こどもが意見を言いやすいような接し方を心がける。

★こどもに安心感を持ってもらう

- 決まったサポートプランは多くの人に話さない。(学校の先生など身近な人だけにプランをよく理解してもらい、その他の人には秘密にすると約束する。)